



学校だよい

江戸川区立篠崎第四小学校

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shinozaki4-e/>

令和8年1月30日発行
令和7年度 2月号
江戸川区篠崎町8-1 2-8
校長

子供の育ちを待つ

副校長

暦の上では、間もなく立春を迎えます。少しづつ日の出の時刻が早くなり、日の入りの時刻が遅くなってきて、日の長さは長くなっています。しかし、この時期が一番寒く感じます。

明日、31日は土曜授業日です。日頃の学習の様子や1年間のまとめの学習をする学級もあります。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

さて、この寒い時期になると思い出すのが、鯉とり名人の話です。

真冬に、冷たい水にもぐって鯉をつかまえてくる名人の話。

この名人は、冷たい水にもぐって鯉のいそなところで、じっとガマンして動かずに待っています。すると、名人の体温が穴にひそむ鯉に伝わって、じょじょに鯉が動きだして穴から出て、名人のふところに入ってくる。それをソッと抱えて上がってくる。鯉は決して逃げません。

もしこの名人が鯉の気持ちに逆らって鯉を手づかみにしようとしたら、鯉は名人のふところからサッと逃げていってしまいます。この名人は鯉が自分で彼のふところに入り自分で上がっていいくようにしむけるのです。

（坂本昇一 「自立のステップと心の居場所づくり」『総合教育技術』小学館 出版年月日不明）

今年度も昨年度に引き続き「主体的に学習する児童の育成」をテーマにユニバーサルデザインの視点による算数科の授業づくり～をサブテーマとして1年間研究をして参りました。授業では、子供たちが主体的に学習する姿を目指し、様々な手立てを考えて、より子供たちのためになる指導方法を探って参りました。

この根底にあるのは、とりもなおさず私たち一人一人の子どもに対する姿勢です。子供たちのためにと考えた一つ一つの手立てが、単なるテクニックではなく、子供たちにしっかりと届かせる必要があるのです。子供の話を聴こうと思いながら、つい、自分の言いたいことをしゃべりつくしてしまっていいのか。そもそも、子供が話そうとする時間を持つことができているか。「鯉とり名人」のように子供の成長をあたたかく見守れているか。自問自答が続きます。

これからも、学校のいろいろな場で、子供たちが主体的に行動することができるよう支援していきます。

<書き初め大会>

3学期が始まって間もなくの1月9日、13日に校内書き初め大会が行われました。1・2年生は、硬筆書初め。3年生からは毛筆。3年は「お正月」4年は「元気な子」5年は「希望の朝」そして6年は「夢の実現」をそれぞれ力強くしたためました。

1月26日から、校内書き初め展が始まりました。子供たちは冬休前みから練習を重ね、書き初め大会本番では、これまでの書写の学習を生かし、何度もお手本を見返して、字形やとめ・はね・はらいなどを注意深く確認していました。静かに、集中して書いている姿はとても意欲にあふっていました。お子様が書き上げた作品からは、新たな決意と成長を感じられたのではないでしょうか。保護者の皆様、ご協力をありがとうございました。



行事予定 SC : スクールカウンセラー来校日

2日(月)	振替休業日
3日(火)	B6 安全指導
4日(水)	B4
5日(木)	A6 音楽集会 SC
6日(金)	B6 新入生説明会 (14:30~)
9日(月)	B6 朝会 委員会
10日(火)	A6 ウィンタースクール事前健診⑤
11日(水)	建国記念の日
12日(木)	A6 ウィンタースクール⑤ SC
13日(金)	A6 ウィンタースクール⑤
14日(土)	ウィンタースクール⑤
16日(月)	A6 朝会 振替休業⑤ フッ化物
17日(火)	B6 避難訓練
18日(水)	B5 安全パトロール
19日(木)	A6 一斉定時退勤日 SC
20日(金)	A6
23日(月)	天皇誕生日
24日(火)	A5
25日(水)	B5
26日(木)	A6 6年生を送る会 SC
27日(金)	A6 感謝のつどい (1~5年生 A4、6年生 A6)

<ユニセフ>

募金へのご協力ありがとうございました。

篠崎第四小学校では、毎年代表委員会を中心ユニセフ募金に協力しています。

22日(木)にユニセフ集会でユニセフ活動の内容を紹介したり、募金されたお金がどのように使われているのかを紹介したりしました。お陰様で、多くの募金が集まりました。集まった募金はユニセフ協会へ送金します。募金への協力いただきありがとうございました。



<薬物乱用防止教室>

1月20日(火)の6時間目、6年生は、江戸川区保護士会、鹿骨分区の保護士の皆様に来ていただき、薬物乱用防止教室を行いました。学校薬剤士の方から「薬の正しい飲み方とオーバードーズ」についてお話を聞き、警察の方等のロールプレイで学びました。

ロールプレイでは、薬物は子供も大人と同じように誘いの危険が潜んでいることについて知りました。児童は驚きながらも真剣に話を聞いていました。

また、映像から薬物の種類や、その薬物を使ってしまうとどういった危険があるのかが分かりました。

誘われた時の断り方や、「薬物、ダメ、ゼッタイ」の標語など、薬物は自分も周りの人も不幸にするというメッセージを受け取りました。

